

# 大阪市立堀江中学校

## 平成28年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

### 本校教育の基本事項

#### 【目指す生徒像】

1. 自他ともに認めあう、豊かな心を持った生徒
2. 自ら学ぼうとする姿勢を持つ生徒
3. 規律正しい生活を営み、規範意識を持った生徒
4. 自らの将来を見据えた進路選択のできる生徒
5. 言葉を大切に作る姿勢を持つ生徒

#### 【基本となる経営方針】

『言葉を大切にした教育活動の推進』

### 1 学校運営の中期目標

#### 現状と課題

- 学校評価アンケート(生徒)の肯定的回答の平均を、この3年間の同学年の推移を検証すると、1年は9.3p(H2566.6%→H2669.7%→H2775.9%(18項目))、6.5p(H2671.2%→H2777.7%(21項目))、2年は10.9p(H2559.3%→H2662.7%→H2770.2%(18項目))、6.9p(H2664.8%→H2771.7%(21項目))、3年は8.2p(H2558.7%→H2667.1%→H2766.9%(18項目))、3.2p(H2666.0%→H2769.2%(21項目))、と上昇しており、H25からの3年間は、中期目標の7p程度の上昇を達成できている。

しかし、各学年において比較すると、

56期生(現高1)は、H2566.6%→H2662.7%→H2766.9%(18項目)と変化しており、1年から2年生へ3.9p減少しているが、3年間通してみると大きな変化はなく、増加は0.3pと僅かである。57期生(現中3)は、H2669.7%→H2770.2%と変化しており、増加は0.5pと僅かで、この2年間では大きな変化はない。

- 平成26年度と比較し、放送コンクールや習字コンクールの応募はなかったが、漢検や読書感想文の他、人権啓発標語、人権啓発キャッチコピー、社会を明るくする運動作文等、希望して受検したり、応募の種類が増えたりしたことで、昨年度よりも総数で約485名増加した。また、税の作文では、表彰式で代表として自己の作品を朗読する経験をした生徒、読書感想文中央コンクールでは、全国レベルでの優秀賞に入賞し、毎日新聞社からの取材も受けた生徒もいた。生徒会活動の一環で行われた小学校への出前授業等、ネット利用対策に関する実践事例については優秀賞を獲得し、スマホサミットで発表を行った。

教科の夏期の課題設定を工夫し、生徒たちに複数のテーマで「書く」機会を与えたことや、学年全体で一つのテーマで取り組み作品を仕上げたこと等から、教科・領域の時間を有効活用し、教師側も積極的ににかかわることで、生徒たちの検定やコンクール参加や出品の機会の充実が図られている。

	平成26年度	平成27年度	入賞者数
英語検定	48名	72名	
漢字検定		118名	
税の作文	3年全員	3年全員	3名入賞(内1名代表で朗読)
税の標語	3年全員	3年全員	3名入賞
“社会を明るくする運動”作文		3年10名	参加賞
読書感想文		1・2年50名	2名入賞
生命保険に関する作文	4名	1・2年50名	3名入賞
人権啓発標語		2年全員	3名入賞

	平成 26 年度	平成 27 年度	入賞者数
人権啓発キャッチコピー		2 年 71 名	1 名入賞
平和に関する絵画・写真コンクール	23 名	13 名	1 名入賞
大阪市読書感想画コンクール		6 名	3 名入賞
読書感想画中央コンクール		1 名	1 名入賞
大阪成蹊アート&コンペティション 1015		3 名	3 名入賞（内 1 名準大賞）
ネット利用対策実践事例コンクール		生徒会	優秀賞
放送コンクール	3 名		
習字コンクール	1 名		

- 学校評価アンケート調査の「家で学校の授業の復習をしている」の（A+B）の割合の結果は、58 期生（現中 2）は 68%、57 期生（現中 3）は 42%、56 期生（現高 1）は 51%であり、58 期生は目標である 60%以上を達成できているが、57、58 期生は達成できていない。ここ数年、家庭学習は本校の大きな課題であり、目標値を達成できていない。本年度においても、昨年度に引き続き、「家庭学習」にポイントをおいて具体的な指導していく必要がある。
- 学校評価アンケート調査（生徒）の「通知票の学習成績のつけ方に納得できる」の（A+B）の割合の結果は、58 期生（現中 2）が 81%(H26,1 年 76%)、57 期生（現中 3）が 79%(H26,2 年 65%, H26,1 年 76%),、56 期生（現高 1）が 70%(H26,3 年 71%, H26,2 年 65%)となっている。また、「通知票は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている」（保護者）の（A+B）の割合の結果は、58 期生（現中 2）が 84%(H26,1 年 77%)、57 期生（現中 3）が 81%(H26,2 年 67%, H26,1 年 77%),、56 期生（現高 1）が 86%(H26,3 年 80%, H26,2 年 67%,)となっている。どの学年においても高評価であり、学習成績のつけ方に納得できていると判断できる。これは、平成 28 年度の公立入試合否制度に大きな変化（絶対評価の導入、統一テスト・チャレンジテストの導入）に対して、平成 26 年度末に保護者対象の説明会を実施し、懇談時にチャレンジテストによる成績（評定）の修正を丁寧に説明した結果であると考えられる。引き続き、生徒・保護者に対して丁寧な対応が重要である。
- 学校評価アンケート調査の「習熟度別少人数授業やティームティーチング授業はわかりやすい」の（A+B）の割合の結果は、58 期生（現中 2）は 70%、57 期生（現中 3）は 75%、56 期生（現高 1）は 60%となっている。58 期生・57 期生においては達成できていると判断される。56 期生の肯定的回答率は昨年度よりは 2p 増加しているが、中期目標である 65%を下回っている。この結果を踏まえて、今年度も充実した授業作り（習熟度・T T）の研鑽が必要である。
- 昨年度、学校評価アンケート調査の「相談できる先生がいる」の肯定的割合（A+B）の結果は、生徒の回答からみると、1 年生 67%（H26 年 1 年生 59%）2 年 63%（H26 年 1 年生 59%）3 年 61%（H25 年 1 年生 55% H26 年 2 年生 43%）と上昇している。保護者の回答から見ても、1 年生 70%（H25 年 1 年生 53% H26 年 1 年生 67%）2 年 74%（H26 年 1 年生 67%）3 年 73%（H25 年 1 年生 53% H26 年 2 年生 59%）と上昇している。特に 3 年生は、進路選択にかかわっての相談機会が増えることもあり、一昨年度よりも 14 ポイント上昇している。しかし、「よくあてはまる」と回答した割合を見ると、生徒の回答では、2、3 年生は 3 割を下回っており、保護者の回答では、1 年生は 2 割を下回っており、教育相談のみならず、日々の関わりを、今後さらに実践していく必要がある。
- 昨年度、全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っている」の項目について「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答している割合（A+B）は 94.2%で、一昨年度よりも 1 ポイント弱上昇している。また「当てはまる」と回答している割合は 57.7%で、一昨年度（48.2%）よりも上昇し、リーダー層の規範意識は高まっている。今後もリーダー層の意識を、学校全体に広めていけるような取

り組みを進めることが大切である。

- 昨年の健康アンケートの結果、「日ごろから病気やけがをしないように気をつけている」「健康な生活ができるように意識している」の項目で、意識している生徒が約66%で前年度より2%上昇した。「手洗い・うがい」の項目では、約82%の生徒が、「意識しておこなっている、どちらかといえば行っている」と答えており、意識は高いと言える。さらに向上できるよう啓発活動を行っていく。

## 中期目標

### 【視点 目指す生徒像】

- 平成28年度の学校評価アンケート（生徒）の肯定的割合（A+B）の平均を平成25年度と比較し、7ポイント程度、上昇させる。  
（カリキュラム改革関連）

### 【視点 基本となる経営方針】

- 「言語活動に関する研究会・発表会・各種大会・検定・コンクール」への参加・出品する機会をできるだけ多く生徒に提供し、その件数を平成25年度より増やし、英検や漢検の受験者数も平成27年度より増やす。  
（カリキュラム改革関連）（ガバナンス改革関連）

### 【視点 学力の向上】

- 自主学習習慣が定着している割合を平成28年度には、平成25年度より10ポイント向上させる。  
（カリキュラム改革関連）
- 学習の評価を適切に実施していると判断する生徒・保護者の割合を平成24年度より増やす。  
（カリキュラム改革関連）
- 平成28年度学校評価アンケート調査（生徒・保護者）で「授業はわかりやすい」「学校は子どもたちの学力充実のために努力工夫をしている」と回答する肯定的割合（A+B）割合を65%以上にする。  
（マネジメント改革関連）

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成28年度学校評価アンケート調査（生徒・保護者）で「相談できる先生がいる」「子どもや学校のことで相談できる先生がいる」と回答する肯定的割合（A+B）を60%以上にする。  
（マネジメント改革関連）
- 平成28年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っている」の項目について「当てはまる」と回答する割合を、平成24年度より10ポイント向上させる。  
（カリキュラム改革関連）

### 【視点 健康・体力の保持増進】

「健康な生活習慣アンケート」を取り、次の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を各学年で経年比較し、27年度末まで毎年向上させる。

- ・「手洗い・うがいをきちんと行っている」
- ・「日ごろから病気やケガをしないように気をつけている」
- ・「食事や睡眠時間などに気をつけ、健康な生活が送れるよう意識している」

（カリキュラム改革関連）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【視点 目指す生徒像】

学校評価アンケート調査（生徒）の肯定的割合（A+B）の平均を全学年 70%以上にする。  
（カリキュラム改革関連）

### 【視点 基本となる経営方針】

「言語活動に関する研究会・発表会・各種大会・検定・コンクール」への参加・出品する機会をできるだけ多く生徒に提供し、その件数を平成 27 年度より増やし、英検や漢検の受検者数も平成 27 年度より増やす。（カリキュラム改革関連）

（ガバナンス改革関連）

### 【視点 学力の向上】

① 学校評価アンケート調査（生徒）で「家で学校の授業の復習をしている」と回答する肯定的割合（A+B）を 65%以上にする。  
（カリキュラム改革関連）

② 学校評価アンケート調査（生徒・保護者）で「通知票の学習成績のつけ方に納得できる」「通知票は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている」と回答する肯定的割合（A+B）を 70%以上にする。  
（カリキュラム改革関連）

③ 学校評価アンケート調査（生徒）で「習熟度別少人数授業やティームティーチング授業はわかりやすい」と回答する肯定的割合（A+B）を 65%以上にする。（マネジメント改革関連）

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

① 学校評価アンケート（生徒・保護者）で「相談できる先生がいる」「子どもや学校のことで相談できる先生がいる」の項目について「当てはまる」と回答する割合を、昨年度よりも向上させる。  
（マネジメント改革関連）

② 全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っている」の項目について「当てはまる」と回答する生徒の割合を昨年度よりも向上させる。  
（カリキュラム改革関連）

③ 小中連携を推進し、地域とのふれあいを通して、生徒のボランティア精神の育成を図る。  
（ガバナンス改革関連）

### 【視点 健康・体力の保持増進】

学校独自の「健康な生活習慣アンケート」の次の項目についての肯定的回答の割合を、年度当初より年度末調査の割合を向上させる。

- ・「手洗い・うがいをきちんと行っている」
- ・「日ごろから病気やケガをしないように気をつけている」
- ・「食事や睡眠時間などに気をつけ、健康な生活が送れるよう意識している」

（カリキュラム改革関連）

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

平成28年度 運営に関する計画・自己評価

(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【視点 目指す生徒像】</b> ① 学校評価アンケート調査(生徒)の肯定的割合(A+B)の平均を全学年70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【道徳教育の推進】〈自他ともに認めあう、豊かな心を持った生徒〉 道徳の授業内容を研究し、道徳の年間授業時間を確保する。 なかよし学級在籍生徒と通常の学級在籍生徒の交流を深める。(カリキュラム改革関連)	
指標 学校評価アンケートの項目(保護者⑦番・生徒⑤番)の肯定的評価割合70%を超える。	
取組内容②【自主学習習慣の確立】〈自ら学ぼうとする姿勢を持つ生徒〉 家庭学習の習慣を身につける。 チャイム着席の定着により、授業を大切にする姿勢を身につける。(ガバナンス改革関連)	
指標 学校評価アンケートの項目(生徒⑩番)肯定的評価割合65%以上にする。 学校評価アンケートの項目(保護者⑪番・生徒⑧番)肯定的評価割合70%以上にする。	
取組内容③【その他】〈規律正しい生活を営み、規範意識を持った生徒〉 5つの取り組み(あいさつ、時間を守る、正しい服装、適切な言葉づかい、丁寧な清掃)を意識した学校生活を営む姿勢を身につける。 遅刻生徒への指導助言と保護者啓発により、遅刻数を減少させる。(マネジメント改革関連)	
指標 学校評価アンケートの項目(保護者⑥番・生徒④番)の肯定的評価割合を増やす。	
取組内容④【進路指導】〈自らの将来を見据えた進路選択のできる生徒〉 本校の実情を踏まえ3カ年を見通した、系統的な進路指導のあり方について研究する。 進路選択に必要な情報を生徒・保護者に提供し、適切に進路選択できるよう努める。 (ガバナンス改革関連)	
指標 学校評価アンケートの項目(保護者⑬番・生徒③番)の肯定的評価割合70%を超える。	
取組内容⑤【言語力や論理的思考能力の育成】〈言葉を大切にする姿勢を持つ生徒〉 職員が「言葉を大切にする姿勢」を意識して、授業・生活指導にあたる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 学校評価アンケートの項目(保護者⑫番・⑭番)の肯定的評価割合70%を超える。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】について

- ① 【自他ともに認めあう、豊かな心を持った生徒】
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ② 【自ら学ぼうとする姿勢を持つ生徒】
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ③ 【規律正しい生活を営み、規範意識を持った生徒】
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ④ 【自らの将来を見据えた進路選択のできる生徒】
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ⑤ 【言葉を大切にする姿勢を持つ生徒】

次年度への改善点

平成28年度 運営に関する計画・自己評価  
(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 基本となる経営方針】</b> ① 「言語活動に関する研究会・発表会・各種大会・検定・コンクール」への参加・出品する機会をできるだけ多く生徒に提供し、その件数を平成27年度より増やし、英検や漢検の受検者数も平成27年度より増やす。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① <b>【言語力や論理的思考能力の育成】</b> (カリキュラム改革関連) 言語活動に関する各種取り組みの成果や案内等の情報を伝え、積極的に参加させる。 我が国の伝統文化や芸術鑑賞の機会を持ち、言語活動の充実を図る。	
指標 自由応募の検定やコンクールの参加・出品を平成27年度より増やし、英検や漢検の受検者数も平成27年度より増やす。	
取組内容② <b>【読書活動の充実】</b> (ガバナンス改革関連) 地域ボランティアと連携し、学校図書館のバーコード化を図り、「読書センター」としての機能を高め、読書活動を充実させる。	
指標 学校図書館の利用者を平成27年度より増やす。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>【取組内容】について</b> ① <b>【言語力や論理的思考能力の育成】</b>  ② <b>【読書活動の充実】</b>

次年度への改善点

平成28年度 運営に関する計画・自己評価  
(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 学校評価アンケート調査（生徒）で「家で学校の授業の復習をしている」と回答する肯定的割合（A+B）を 65%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 学校評価アンケート調査（生徒・保護者）で「通知票の学習成績のつけ方に納得できる」「通知票は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている」と回答する肯定的割合（A+B）を 70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校評価アンケート調査（生徒）で「習熟度別少人数授業やティームティーチング授業はわかりやすい」と回答する肯定的割合（A+B）を 65%以上にする。 (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【自主学習習慣の確立】 (カリキュラム改革関連)</p> <p>学習用プリント教材を用意する等、家庭学習が定着するように工夫する。</p> <p>指標 学校評価アンケートの項目（生徒⑩番）肯定的評価割合 65%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【その他】 (カリキュラム改革関連)</p> <p>夏期休業中に実施する学力補充のためのオープン講座の充実を図る。</p> <p>指標 オープン講座を 25 講座以上開設する。</p>	
<p>取組内容③【学校評価の充実】 (マネジメント改革関連)</p> <p>生徒たちの学習に対する評価の方法（目標に準拠した評価）を生徒・保護者へ周知する。</p> <p>指標 生徒・保護者へ評価について説明を行う。 学校評価アンケートの項目(保護者⑫番・生徒⑨番)肯定的評価割合 70%を超える。</p>	
<p>取組内容④【言語力や論理的思考能力の育成】 (カリキュラム改革関連)</p> <p>読書習慣の定着に向けて、学級文庫の設置等により朝の読書タイムを充実させる。</p> <p>指標 朝の読書タイムを週あたり 3 日(年間延時間数 1050 分)確保する。</p>	



年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
-------------------------

<b>【取組内容】について</b>
-------------------

① **【自主学習習慣の確立】**

② **【その他】**

③ **【学校評価の充実】**

④ **【言語力や論理的思考能力の育成】**

次年度への改善点
----------

平成28年度 運営に関する計画・自己評価  
(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 学校評価アンケート（生徒・保護者）で「相談できる先生がいる」「子どもや学校のことで相談できる先生がいる」の項目について「当てはまる」と回答する割合を、昨年度よりも向上させる。 (マネジメント改革関連)</p> <p>② 全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っている」の項目について「当てはまる」と回答する生徒の割合を昨年度よりも向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 小中連携を推進し、地域とのふれあいを通して、生徒のボランティア精神の育成を図る。 (ガバナンス改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【学校・家庭・地域の連携の推進】 (マネジメント改革関連) (ガバナンス改革関連)</p> <p>家庭連絡、家庭訪問、学期末懇談会を充実させる。</p> <p>教育相談と日常のコミュニケーションの充実をはかる。</p> <p>指標 日常的に保護者との連携を意識し、きめ細やかな報告や対応を行う。</p> <p>休み時間や放課後の有効活用を意識し生徒と会話をする機会を増やす。</p>	
<p>取組内容②【その他】(基本的生活習慣の定着) (カリキュラム改革関連)</p> <p>あいさつ、時間を守る、正しい服装、適切な言葉づかい、丁寧な清掃の5項目を本校の「5つの取り組み」として教育活動に定着させ充実を図る。</p> <p>指標 日々の学級活動、授業、行事、部活動など、さまざまな場面で意識させる。</p> <p>生活指導点検週間などの強化期間を設定し、改善目標を立てて取り組む。</p>	
<p>取組内容③【小中連携・地域連携】 (ガバナンス改革関連)</p> <p>小中合同音楽コンサート等の取組で小中や地域との連携を深め、地域行事にも積極的に参加し、生徒の成就感を高めるボランティア活動を推進する。</p> <p>指標 小中合同音楽コンサートのアンケートで満足度を75%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
-------------------------

【取組内容】について
------------

① 【生徒、保護者理解の充実】

② 【基本的生活習慣の定着】

③ 【小中連携・地域連携】

次年度への改善点
----------

平成28年度 運営に関する計画・自己評価  
(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>① 学校独自の「健康な生活習慣アンケート」の次の項目についての肯定的回答の割合を、年度当初より年度末調査の割合を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手洗い・うがいをきちんと行っている」</li> <li>・「日ごろから病気やケガをしないように気をつけている」</li> <li>・「食事や睡眠時間などに気をつけ、健康な生活が送れるよう意識している」</li> </ul> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣の確立】 (カリキュラム改革関連)</p> <p>保健委員会で、手洗い・うがいの呼びかけ・毎週の石けん点検とポスターの掲示を行う。</p> <hr/> <p>指標 保健意識を高めるため、保健委員会を活用する。</p>	
<p>取組内容②【健康・体力の保持増進に対する意識の向上】 (ガバナンス改革関連)</p> <p>「保健だより」や掲示物等を通して、健康や体力の保持増進に関する情報を提供し、啓発活動を行う。</p> <hr/> <p>指標 保健だよりを毎月発行し、定期的に資料等の掲示を行う。</p>	
<p>取組内容③【健康や安全、事故防止に関する緊急的課題への対応】 (カリキュラム改革関連)</p> <p>健康や安全、事故防止に関する正しい知識と予防法および緊急事態に際して適切に対応できる対処法を身に付けさせるため、全教職員が日常の教育活動をとおして推進する。</p> <hr/> <p>指標 学校評価アンケートの項目(保護者⑰番・生徒⑮番)の肯定的評価割合を70%以上に する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
-------------------------

【取組内容】について
------------

- |   |
|---|
| <p>① 【健康な生活習慣の確立】</p> <p>② 【健康・体力の保持増進に対する意識の向上】</p> <p>③ 【健康や安全、事故防止に関する緊急的課題への対応】</p> |
|---|

次年度への改善点
----------